

# The Smile

LIONS CLUBS INTERNATIONAL DISTRICT 330-B JAPAN



ガバナーテーマ

「Changing the World」

世界を変える



●8月合同で4カ所に分かれ、能登半島地震災害支援募金活動を実施した



パーソナルテーマ

情熱と真心

サブテーマ

～明るく!楽しく!元気よく!～

ライオンズクラブ国際協会330-B地区

(神奈川県・山梨県・伊豆大島)

<http://www.lions330-b.gr.jp/>

ライオンズクラブ国際協会は世界209の国または地域、135.8万人のメンバーを擁する世界一の奉仕団体です。

# We Serve



2023~2024年度  
国際会長テーマ

## 「Changing the World」 世界を変える

国際会長

パティ・ヒル L



## CONTENTS

- 1 ガバナーズメッセージ
- 2 第3回キャビネット会議
- 4 川崎市市政100周年記念イングリッシュ・スピーチ・コンテスト
- 6 奉仕(GST)シンポジウム
- 7 FWT女性セミナー
- 8 LCIFセミナー
- 9 サーバントリーダーシップセミナー
- 10 地区年次大会記念ゴルフ大会
- 12 Step Forward支援金を活用して  
横浜都筑LC/甲府舞鶴LC/  
横須賀北LC
- 14 薬物乱用防止教育認定講師  
スキルアップセミナー
- 15 小田原カルチャーフェスティバル
- 16 リジョン・ゾーン・クラブレター  
8R合同/小田原白梅LC  
小田原松風LC/横浜泉LC/  
横浜ポートヒルLC/湯河原LC/  
藤沢湘南LC/1R-1Z合同/  
横浜中央LC/伊豆大島LC
- 24 編集後記

ガバナーテーマ

## 「Changing the World」

世界を変える

パーソナルテーマ



第59代地区ガバナー

L 石田 真一

(4R-1Z 川崎臨海LC)



●川崎市市政100周年記念「イングリッシュ・スピーチ・コンテスト」で解説する石田ガバナー

桜花の候、330-B地区メンバーの皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

年次大会記念アクティビティとして3月17日、川崎市市政100周年記念「イングリッシュ・スピーチ・コンテスト」を川崎市、川崎市教育委員会の後援をいただき山本直正委員長のもと、市内の高校生12名が参加し、川崎市内で初めて開催されました。4月7日には環境保全活動としてヒラメの稚魚(約5,000匹)

の放流を川崎区東扇島の人工海浜(かわさきの浜)にて小学生・保護者の方々をお招きして行いました。

またサーバントリーダーシップセミナー(Web)、LCIFセミナー(横浜・山梨2ヶ所)、GSTシンポジウム「未来を笑顔にするために」(横浜・山梨)、FWT女性セミナー、献血・糖尿病セミナー、次世代リーダーシップフォーラムなど数々のセミナーにたくさんのメンバーの方々にお集まりいただきましたこと心より感謝を申し上げます。

また、第70回地区年次大会記念ゴルフ大会(レイクウッドゴルフクラブにて開催)には250名を超えるメンバーにお集まりいただきましたこと重ねて感謝とお礼を申し上げます。

毎年の課題でもあります会員維持・会員増強も3月31日現在で71名の純増をいただいております。毎年期末になりますと退会者が増える傾向にあります。メンバーの皆様のお力をいただき何とか食い止めないなりません。新しい奉仕活動またメンバー間の楽しい交流などを皆様で考えていただき、楽しいライオンズ活動を実践し退会を阻止していきましょう。

新しい奉仕活動のためのステップフォワード支援金もまだまだ受付をしていますので、クラブの新しい奉仕活動にぜひともお役立て願えれば幸甚です。

第70回地区年次大会がカルッツかわさき(川崎市)にて開催されます。大会テーマを『まごころ』、サブテーマ「ともにいく」。親身になって尽くそうとする気持ちを大事に仲間とともに生きていく、そういった願いを込めたテーマとさせていただきました。

330-B地区のメンバーが一堂に会する年に1度の祭典であります。この機会に他地域のメンバーとの交流、相互理解を深める絶好の機会でもあります。多くのクラブメンバーの方々のお越しをお待ちしております。

春爛漫のみぎり、メンバーの皆様におかれましては健康には十分にご留意なされ、さらにご活躍されますこと心よりご祈念申し上げます。





# 第3回 キャビネット会議

2月22日(木) 小田原お堀端コンベンションホール



2月22日(木)14時より小田原お堀端コンベンションホールにて、第3回キャビネット会議が行われた。

会議は、倉田雅史第1副地区ガバナーの開会宣言の後、立山和也キャビネット副幹事の司会で始まった。冒頭、石田真一地区ガバナーは「令和6年能登半島地震への募金額が900万円を超える金額が集まった。全国でも4番目の多さである。330-B地区の皆様の真心が届くことを祈っている。また会員数も本日時点で66名の純増という成果が上がっている。ひとえに皆様のお力に感謝申し上げます」と挨拶があった。

続いて、中澤一浩前地区ガバナー・名誉顧問会議長は、「後半期も石田ガバナーに全幅の信頼をいただき、ご支援をお願いしたい」と語った。

幹事報告は、出川溪二キャビネット幹事より報告があった。続いて会計報告が、谷井弘樹キャビネット会計よりなされた。

会議は、議長に石田ガバナーが選出

され審議が始まった。議事は以下の通り。

## 【審議事項】

<第1号議案> 2023～2024年度上半期地区会計報告承認の件

【提案通り承認可決】

<第2号議案> 第70回地区年次大会代議員会における議案の件

地区年次大会代議員会における上程の議案として、下記議案を提案することの承認を求める。(地区ガバナー提案)

【提案通り承認可決】

(議案1)2022～2023年度地区会計年次決算報告承認の件

※全体会で決議する。

(地区ガバナー提案)

【提案通り承認可決】

(議案2)2024～2025年度の地区年次大会を足柄下郡及び小田原市で開催することの承認を求める

※全体会で決議する。

(地区ガバナー提案)

【提案通り承認可決】

(議案3)2024～2025年度拠出金承認の件

※全体会で決議する。

1. 運営費会計拠出金について  
(一般会計)

地区運営費として月額1人当たり1,090円(年額1人当たり13,080円)の拠出金の承認を求める。但し、2人目以降の家族会員は半額とする。

(地区ガバナー提案)

【提案通り承認可決】

2. 地区ニュース会計拠出金について  
(一般会計)

地区ニュース誌の購読料として月額1人当たり125円(年額1人当たり1,500円)の拠出金の承認を求める。但し、2人目以降の家族会員は負担なしとする。

(地区ガバナー提案)

【提案通り承認可決】

3. 地区年次大会拠出金について  
(一般会計)

地区年次大会費は月額1人当たり280円(年額1人当たり3,360円)の



●石田ガバナー

●倉田第1副地区ガバナー

●森川第2副地区ガバナー

●出川キャビネット幹事

●谷川キャビネット会計



拠出金の承認を求め。但し、2人目以降の家族会員は半額とする。

(地区ガバナー提案)

【提案通り承認可決】

#### 4. IT・PR会計拠出金について

(一般会計)

年額1人当たり192円の拠出金の承認を求め。但し、2人目以降の家族会員は半額とする。(地区ガバナー提案)

【提案通り承認可決】

#### 5. YCE会計拠出金について

(特別会計)

年額1人当たり120円の拠出金の承認を求め。但し、2人目以降の家族会員は半額とする。(地区ガバナー提案)

【提案通り承認可決】

#### 6. 腎・アイバンク会計拠出金について

(特別会計)

年額1人当たり20円の拠出金の承認を求め。但し、2人目以降の家族会員は半額とする。(地区ガバナー提案)

【提案通り承認可決】

#### 7. アクティビティ特別活動資金会計拠

出金について(特別会計)

年額1人当たり240円の拠出金の承認を求め。但し、2人目以降の家族会員は半額とする。(地区ガバナー提案)

【提案通り承認可決】

#### 8. 薬物乱用防止教育会計拠出金について(特別会計)

年額1人当たり20円の拠出金の承認を求め。但し、2人目以降の家族会員は半額とする。(地区ガバナー提案)

【提案通り承認可決】

#### 9. 援助金会計拠出金について

援助金会計の財源として、年額1人当たり60円の拠出金の承認を求め。但し、2人目以降の家族会員は半額とする。(地区ガバナー提案)

【提案通り承認可決】

#### <第3号議案> 地区シェアリング交付金申請の件

地区シェアリング交付金申請可能額(約\$106,248)より、今回\$5,602(824,670円)を第70回地区年次大会記念アクティビティ費用として申請

することの承認を求め。

(2月のライオンズレート

¥147,262,497)

ライオンズクラブの重点的な奉仕活動である環境保全の一貫で、川崎市川崎区にある東扇島人工海浜において、稚魚の放流活動を行い小さな命が育っていく海の豊かさや、限りある水産資源の保護などについて考える良い機会になると考え地区シェアリング交付金を活用させて頂きたい。尚今回地区シェアリング交付金申請が遅くなった為、上記事業に間に合った場合のみ使用させて頂く事とする。

【提案通り承認可決】

最後に、森川吉孝第2副地区ガバナーの閉会宣言で会議は無事終了した。

取材：地区ニュース

委員長 L石井 光一

撮影： //

アドバイザー L近野 照彦



# 川崎市市政100周年記念 第1回イングリッシュ・スピーチ・コンテスト



川崎市市政100周年を記念し、第1回イングリッシュ・スピーチ・コンテストが、3月17日(日)13時より川崎市の武蔵小杉ユニオンビルで開催された。

このコンテストは、青少年育成・支援事業であるYCEの一環として、これまで横浜市や小田原市で開催されてきた。今回は川崎市市制100周年を記念して、石田真一地区ガバナ

一の肝いりで初めて川崎市で実施された。

担当委員長である山本直正元地区ガバナーは「川崎で学ぶ学生を世界へ羽ばたかせるきっかけとして、開



そば粉・各種乾麺・お菓子他  
ホームページからも購入できます！

久津間製粉

検索



小売り  
いたします

セ印そば粉製造本舗

**久津間製粉株式会社**



本社：小田原市久野2358 ☎0465(34)1157  
横浜営業所：横浜市旭区今宿西町224-2 ☎045(954)2357  
<http://www.kutsuma.co.jp>





催はかねてから念願であった。準備段階では不安もあったが、4R・5Rのメンバーや、開催経験がある小田原LC・横浜みなと一馬車道LCの協力と川崎市教育委員会の後援もあり無事開催できた」と感謝の意を表した。

コンテストには川崎市内の高校1年から3年生までの12人が参加し、学校生活や環境問題、日頃感じていることなどを交えた自由なテーマで

約5分間のスピーチを披露した。文法や発音、明瞭さに加え、メッセージ性と表情や豊かな表現などによる審査が行われ、最優秀賞にあたるガバナー賞は高橋紗季子さん(川崎市立橘高校2年)が受賞した。高橋さんは「お互いを受け入れる」と題し、日々国際理解を深めるように努めていることや、日本の多様性に関する問題とそれに対し川崎市が行っている取

り組みについて思いを話した。ガバナー賞の高橋さんは、YCE事業の一環で川崎市初の語学留学生として海外に派遣される予定。

取材：地区ニュース

委員長 L石井 光一

撮影： //

アドバイザー L近野 照彦

**税は事前の相談が第一歩**

**「おかげさまで 創業48年」  
吉本会計事務所**

所長・税理士 **吉本 晴夫**  
(藤沢中央ライオンズクラブ所属)

〒251-0042 神奈川県藤沢市辻堂新町1-1-17 プレール湘南辻堂1401  
TEL 0466-36-8742(代表) FAX 0466-35-5001 E-Mail yosimoto@aria.ocn.ne.jp

# GSTシンポジウム開催 パネルディスカッション



● 嶋村地区 GST 副コーディネーター(左)



● ホストパネラー佐藤地区 GST コーディネーター

3月25日(月)甲府市総合市民会館「芸術ホール」にて、GSTシンポジウムが開催された。青木哲也奉仕(GST)副委員長の司会で開会した。

開会の言葉では長坂一能同副委員長より「シンポジウムのサブテーマでもある～枠を超えた奉仕活動～についても活発なディスカッションをしていただきたい」と挨拶された。

役員挨拶では、石田真一地区ガバナーが「今期もGSTシンポジウムが開催できたことに心よりお礼申し上げます。ディスカッション終了後の質疑応答では活発な意見交換をしてほしい」と挨拶された。その後、中澤一浩前地区ガバナーからは「日本にライオンズクラブができた70年余り前と今とでは社会環境など変わっている。その中でどのような奉仕活動をして行くのか?未来に向かって変えて行くのか?」と問題提起され、有意義なシンポジウムになるようにと挨拶された。

その後、嶋村裕二地区 GST 副コーディネーターの進行でパネルディスカッションが開始された。ゲストパネラーとして、山梨学院大学からは、法学部法学科

3年の梅田海咲さんと菅野れなさん、慶應義塾大学からは、総合政策学部総合政策学科3年の亀井佑馬さん、2年の小林美結さんが紹介された。

最初に、嶋村副コーディネーターから学生さんたちにライオンズクラブの認知度や印象などについて質問があった。その中で山梨学院の梅田さんからは「お父さん(梅田幸彦)が甲府LCに所属し、イベントや家族例会などに参加した際にメンバーが楽しそうに過ごす姿を見て、とても

良い印象です」と、回答された。

その後、各大学での奉仕活動など発表があり、問題や課題が話し合われた。

最後にホストパネラーの佐藤芳織地区 GST コーディネーター・GST 委員長は「ディスカッションで得たヒントを持ち帰り今後の活動につなげていきたい」とディスカッションを締めくくられた。

質疑応答では学生に対して、ボランティアに参加したきっかけや、仲間を増やすために取り組んでいること、他団体とのつながりやつながったきっかけなど活発な意見交換がなされた。

総評と閉会の挨拶では、森川吉孝第2副地区ガバナーから「大変楽しく聞くことができた。学生たちが多くのボランティアをしていることを知り、一緒に活動していきたい」と挨拶され、シンポジウムが終了した。

なお、GSTシンポジウムは2月26日(月)に神奈川の横浜情報文化センターでも開催された。

取材・撮影：地区ニュース  
委員 L中西 将志



● 挨拶する石田ガバナー



● 会場



# FWT女性セミナー開催！



3月4日(月)14時から、ベル関内601号室にてFWT女性セミナーが開催された。

当日の出席者は70名で、FWT委員1名およびガバナーら3名を除くとすべて女性参加者であった。また330-B地区以外の330-A地区から6名、330-C地区から4名の方にご参加いただいた。机の上にはピンクの包装紙にくるまれたお菓子とお水を用意し、来てくださった皆様にお土産として楽しんでいただけるように工夫をした。

本セミナーの目的は、ひとえに「女性メンバーの友人を作ろう！」ということにあった。近年、会員増強・会員維持がライオンズクラブでは重要視されるが、そもそも会員同士の関係が良好であることが基本となる。特に330-B地区において女性メンバー数は多くなく、クラブに女性会員が一人しかいないということもある。

クラブを超えて女性同士の交流を図ることが、私たちFWTの活動において重要であると考えた。

セミナーではまず330-A地区の小川晶子GATエリアリーダー東日本に講演をしていただいた。FWTの活動について、ウィッグドネーションなどのご紹介があり、女性会員を増やしていくことこそが重要であるとのこと説明をしていただいた。

その後は、6名1テーブルごとのグループに分かれ、それぞれ自己紹介してもらい、そのうえで3つの議題について、ディスカッションをした。議題は、

- ①ライオンズに入ってよかったこと
- ②ライオンズに入って困ったこと
- ③これから行ってみたいアクティビティ

であった。各テーブルには1名ずつのファシリテーターを配置し、参加者から活発な意見が出るように工夫

した。テーブルごとの発表前に休憩時間を挟んだが、参加者は大変熱心であり、休憩もとらず意見を交わし、発表の準備をしていたことには驚かされた。そして、女性ならではの苦勞などの話をする中で、何より各テーブルのメンバー同士が仲良くなっていく様子を感じられた。

石田真一地区ガバナー、倉田雅史第1副地区ガバナー、森川吉孝第2副地区ガバナーからは発表を受けて感想を述べていただき、相互に親睦を深めることができた。鳥居眞弓地区FWTコーディネーターは総括として「またセミナーを行いたい。今度はノンライオンも呼んで会員増強につなげたい」と締めくくった。

FWT委員会は、女性会員の今後の活動を支えるセミナーを引き続き行っていきたいと考えている。

330-B地区FWT

副コーディネーター L安永 佳代





# LCIFセミナー

甲府2会場、神奈川1会場で開催

2月28日(水) LCIFセミナーが10時から河口湖会場で、15時からは会場を甲府に移し山梨県立男女共同参画推進センターぴゅあ総合で開催された。

まず平賀新也地区LCIF副コーディネーター・LCIF委員長から「例年通りのLCIFの基本から、今回能登半島地震等でも皆さんにご協力いただきましたが、その災害支援金がどのように使われているのか、どのように管理されているのか等のことを含めて今日のセミナーを始めます」と開会の挨拶があった。

石田真一地区ガバナーからは「この度の令和6年能登半島地震に皆様方から多大なご寄付をいただき、このLCIFを通じて被災地の方に無事に送られたと聞いております。LCIFは私たちの財団であり、私たちがメンバーになっている等の話を後ほどしてもらいますが、皆さん一人一人がこの寄付をしたことによって世界中の方々に寄付をしているんだということも認識してもらおうセミナーになっていると思います。ぜひ今日はその交付金を各クラブで利用してより大きなアクティビティを実行する方法を学んでください。そして、各クラブに持ち帰ってメンバーの皆さんに伝えてください」と話された。

続いて、櫻井貴裕LCIF日本事務局330複合地区LCIF副コーディネーター・330-B地区LCIFコーディネーターを講師としてセミナーが行われた。

まずはLCI(ライオンズクラブ国際協会)とLCIF(ライオンズクラブ国際財団)の説明から。LCIは世界中の約135万人のメンバーをまとめ組織の拡大や安定を図る世界最大の慈善団体で、LCIFはLCIとそのパートナーが行う慈善資金の調達および交付金の提供だけを目的として設立した独立団体。

\* LCIFの概略は

- ・1968年創設しライオンズの公式財団としてクラブや地区の奉仕活動を援助している。
- ・収入を寄付に頼る
- ・これまでに12億ドル(1,700億円)以上を交付している。日本には、5,630万ドル(約79億円)を交付している。



・日本は、累積で約4億ドルの寄付を集めている。

\* 私たちの使命は、ライオンズクラブ、ボランティア、そしてパートナーが、世界中の人々の暮らしに影響を及ぼす人道奉仕と、交付を通じて健康と福祉を改善し恵まれない人々に支援を提供するとともに、平和と国際理解を促進できるよう、力を与えること。

\* LCIのメンバーは同時にLCIFのメンバーであり、LCIとLCIFは互いの協力関係によって奉仕活動をより大規模に行うことを可能にしている。

\* LCIFに対する寄付は

- ・世界中のLC(仲間)の活動を信じ、遠方や危険な場所にも奉仕を行い、奉仕力をより大きなものにし、ライオンズメンバーであることの誇りを示すこと。

・クラブでメンバーの寄付金額を決める場合は1人何ドルではなく、1人最低何ドルと決めるようにしてほしい。

・奉仕金額に上限はなく、在籍年数も年齢も関係ない、誰がいくら寄付しても良い。

・寄付したメンバーを大いに讃えよう。  
・できることを、できる時に、できるだけ寄付に協力を!

\* LCIFは信頼度、世界1です

・2007年7月に、LCIFは提携相手として世界1位の非政府組織(NGO)に選ばれた。世界の34のNGO団体の中で、LCIFは、そのプログラムの実施、説明責任の遂行、ライオンズ内部および外部とのコミュニケーション、周囲の地域社会へのプログラムの適用性お

よび支援法人の目的理解という点で、第1位として評価された。

\* 交付金

・クラブの場合、最低累計寄付金額が5,000ドルに達していれば交付金が申請できる。

\* 交付金の申請は、奉仕であればほぼ交付対象となり得る(現金不可)。

・人道支援マッチング交付金の対象になる全ての事業

・被災した地域に対し物資の提供  
・クラブの支援する他団体への物品寄付行為

・ボランティア中のスタッフ(メンバー以外)の弁当代

\* 交付金の絶対ダメな申請は

・承認の前に事業が開始されている申請書

・受益者不在、受益者がライオンズ会員・クラブの事業

・ファンドレイジング(資金集め)が目的の事業

・公共事業の補助的意味合いの強い事業

\* 交付金の申請は、処理に必要な時間を考慮した上で地区の定めた期日までにキャビネットに提出すること(90日前までに本部に提出)。

セミナー終了後、参加者からの質疑応答を終え散会した。

なお、神奈川大会は3月1日(金)に日本丸訓練センターで開催された。

取材：地区ニュース

委員 L長坂 正

撮影： //

委員 L中西 将志

# 『サーバントリーダーシップセミナー』開催

GLT委員会



GLT委員会主催で、2月19日(月)・20(火)両日でA～Dの4ブロック計4回、ZOOMにて『サーバントリーダーシップセミナー』が開催された。私は20日午前のBブロックに取材で参加した。

始めに、森川吉孝第2副地区ガバナーより開会の挨拶があり、続いて高山政宏地区GLTコーディネーター・GLT委員長より「サーバントリーダーシップ」についてのレクチャーが行われた。あまり聞きなれない「サーバントリーダーシップ」とは、従来のピラミッド構造の「支配型リーダーシップ」の対極にある、リーダーが逆三角形の最下点に位置し、下から順に役責階層が積み重なり、一番上部が一般のメンバー等が構成する「奉仕型リーダーシップ」ともいえるべき構図の組織構造である。リーダーが組織を導くのではなく、メンバーの自主性を尊重し、一人一人が能動的に組織を導いていき目標が達成できる。勿論「サーバントリーダーシップ」にも「支配型リーダーシップ」にもそれぞれメリット・デメリットがあり、それぞれに合った組織があるが、

ライオンズクラブのように多様性のある環境で、大きな効果を発揮する仕組みであると説明を受けた。

続いて、石田真一地区ガバナーも加わり、3グループに分かれて一回目のバズセッションが行われた。GLT委員が進行して各クラブの課題を発表しあった。人員減少と会員増強の問題、例会やアクティビティのマンネリ化等、多くの部分で共通する問題があることが確認できた。

一旦バズセッションは中断し再び全員で、より詳しいサーバントリーダーシップのメリット10の特徴「傾聴・共感・癒し・気づき・説得・概念化・先見力・執事役・人々の成長への関与・コミュニティづくり」のレクチャーを受けた。

その後再度グループ毎に分かれて2回目のバズセッションを行い、各々にある問題を「サーバントリーダーシップのメリット10の特徴」を踏まえて解決する方向を議論した。

最後に各グループより発表が行われた。「すぐに全てを導入するのは難しいが、考え方として勉強していけば、少

しずつ組織が変わっていけるのかも」「新規勧誘に関して、支配型リーダーシップで勧誘できる人が減ってきている。サーバント型で必要なタイプの人を絞り込み、アプローチして行く方向もあるかもしれない」「サーバント型が浸透すると、新しいアクティビティも生まれるかもしれない」等、各々前向きな意見が出た。

最後に石田ガバナーより「サーバントリーダーシップは、まず相手を優先することが根本にある。リーダーは人に寄り添い、人を助け、そして助けられる。ぜひこのセミナーを生かして今後の活動を行ってほしい」と総括した。

今回の会議は全てZoomミーティングを使用した研修であったが、取材した感想はリモート会議の運用の進化に驚いた。リモート会議にもかかわらずしっかりとコミュニケーションが取れている感覚があり、GLT委員会の皆さんの準備と運用の成果だと強く感じた。

取材：地区ニュース

委員 L石川 ゆう

撮影： //

アドバイザー L近野 照彦

営業品目：NC、MCによる精密機械加工、高圧・高真空溶接

諸設備：NC施盤、SL650型他8台、縦型マシニングセンター6台、Tig、Mig溶接設備合計4台

## SUN 有限会社 サンテック

代表取締役 森川 吉孝

〒236-0002 横浜市金沢区鳥浜町14-9 TEL.045-774-1711(代) FAX.045-774-0950  
E-mail : suntec@gw1.u-netsurf.ne.jp URL : <http://www.yu-suntec.co.jp/pc/>



# 第70回地区年次大会 記念ゴルフ大会



3月19日(火)  
レイクウッドゴルフクラブ



3月19日(火)春の息吹を感じる湘南のなだらかな丘陵地、森と湖に囲まれ適度なアップダウンとうねりのフェアウェイ、戦略性豊かな36ホール。大磯町にあるレイクウッドゴルフクラブは、2012年に宮里 藍プロがLPGAロッテ選手権で優勝したコース、ハワイの「コオリナゴルフクラブ」など米国内の160を超えるゴルフコースの設計を手がけたテオドル・G・ロビンソン氏が日本で最初に設計したアメリカンスタイルのコースだ。ここで今期「LCIFチャリティールゴルフコンペ」と題して、第

70回地区年次大会記念ゴルフ大会が開催された。

早朝からクラブハウスのエントランスで、石田真一地区ガバナー、倉田雅史第1副地区ガバナー、森川吉孝第2副地区ガバナー、櫻井貴裕330複合地区LCIF副コーディネーター、出川深二キャビネット幹事、谷井弘樹キャビネット会計、平賀新也地区LCIF副コーディネーター、明立 信第70回地区年次大会実行委員長、内藤修也次期第2副地区ガバナー候補者、記念ゴルフ大会スタッフ等が参加メンバーを迎え、コンペ参加のお礼と

LCIFへの寄付をお願いした。

競技は東コース(6,524Y、PAR72)と西コース(6,882Y、PAR72)それぞれアウト・インコースに分かれて、和気あいあいと楽しそうにスタートしていった。Wペリア方式、Wパーカット、ハンディキャップ上限36(同ネットの場合年長者上位)スルーザグリーン6インチプレース グリーン上(オール6インチ)。

優勝、準優勝、3位、4位、5位、6位、7位、8位、9位、10位、BB賞ほか、飛び賞、役員賞、バスグロ賞、女性優勝、ニアピン賞、ドラコン賞。





### 【成績表】

#### 【東コース】

順位	競技者名	所属	東0	東I	GROSS	HDCP	NET
優勝	畝本 政幸	川崎朋友	41	39	80	9.6	70.4
準優勝	安齋 勝幸	厚木もみじ	42	43	85	14.4	70.6
3位	菊池 宏実	川崎南	42	46	88	16.8	71.2
4位	片岡 淳一	横浜おとりにコスモポリタン	45	47	92	20.4	71.6
5位	青柳 達磨	川崎田島	41	51	92	20.4	71.6

#### 【西コース】

順位	競技者名	所属	東0	東I	GROSS	HDCP	NET
優勝	木村 記章	藤沢中央	41	49	90	19.2	70.8
準優勝	山田 広樹	小田原白梅	42	45	87	15.6	71.4
3位	十重田 航	横浜戸塚中央	54	51	105	33.6	71.4
4位	加藤 孝次	三浦	46	44	90	18.0	72.0
5位	亀ヶ谷 修	川崎富士見	39	43	82	9.6	72.4



表彰式とコンペパーティーは行わず、入賞者の賞品は後日、所属クラブ事務局へ発送される。今大会で集まったチャリティー金額は、登録料7,000円の内2,000円チャリティー

ー×252名で計504,000円に当日の寄付額計351,000円を合わせて、合計855,000円となり、全額LCIFへ送金される。

年次大会実行委員会ゴルフ部会の

陰の力に感謝、そして目に優しい湘南の新緑に感謝、大会の参加賞は無添加の久寿餅だそうだ。帰宅したら久寿餅を食べながらスコアカードを見て1人反省会をしよう。

取材・撮影：地区ニュース

アドバイザー L中井 弘明





# Step Forward支援金を活用して ちょっと素敵なアクティビティ!

## 仲町台ミモザ広場に 時計台を贈呈

横浜都筑LC



2月16日(金)、横浜都筑LCは、仲町台ミモザ広場に設置した時計台を都筑区に寄贈する贈呈式を執り行いました。

仲町台(横浜市営地下鉄グリーンライン)では以前より、駅側のミモザ広場で遊んでいる子が時間がわからないために帰りが遅くなることが問題となっていました。住民からも度々、「子どもたちの安全のためにも帰宅時間が分かるようにしてほしい」との要望が出ておりました。

当クラブではこの要望を受け、本年度のアクティビティとして、ミモザ広場に時計台を設置することにいたしました。

当初、2月5日一日で工事を終わらせる予定でしたが、この日はあいにく昼前から雪が降り出し積雪も見ら

れたため、昼で工事は中断。その後、8日・10日・12日と継続工事を行い、13日に区の担当者と当クラブ伊藤順子会長、岩田英之アクティビティ委員長による現地確認調査を行いました。

2月16日には、佐々田賢一都筑区長、小島淳都筑土木事務所長等を招き、当クラブメンバー21名とともに、都筑区への時計台の贈呈式を挙。本年がちょうど都筑区政30周年にあたるのを記念しての寄贈です。

新しい時計台は近隣の方にも好評で、「どこがつけてくれたの?助かる!」との感謝の言葉をいただいております。

3R-3Z 横浜都筑LC

会長 L伊藤 順子

## シクラメンの花を 多くの方を笑顔に



甲府舞鶴LCでは、Step Forward支援金事業として、今年もNPO法人こどもサポートやまなし様主催のイベント「クリスマスバスケット」のお手伝いをさせていただきました。

「クリスマスバスケット」とは、サポートが必要なご家族にケーキや食料品等を無償でプレゼントするイベントです。場所は、甲府市役所西庁舎正面玄関にて行われ、山梨県立農林高等学校の生徒が大切に育てた色とりどりのシクラメンの花65鉢を購入し、各ご家庭にプレゼントさせていただきました。



# 岩野

## 株式会社 岩野 総合食肉販売

代表取締役社長 岩野 秀夫 (笛吹LC)

本社 山梨県笛吹市石和町松本 490-1 TEL(055)262-2732(代) FAX(055)263-3447

## 第15回横須賀北LC杯小学生 サッカー大会開催

横須賀北LC



3月9日(土)午前8時から日産自動車(株)の人工芝のサッカー場で、地元の小学校サッカーチームによる第15回ライオンズカップが開催された。開会式終了後、例年通り低学年、中学年、高学年の3カテゴリーに分かれて熱戦が開始された。各小学校のサッカーチームは、各カテゴリー別に練習や試合を行っており、1年生から6年生までが同じグラウンドで顔を合わせて1日試合をする大会は、この大会だけだそうだ。しかも、約240名の選手全員が試合に出場できるよう、監督・コーチが配慮している。

昨年度ステップフォワード支援金をいただき、運営経費を下げる投資を行い、また今年も無事に開催できた。感謝、感謝です。

試合後の反省会で、あるチームのコーチより「横須賀市とフランスのブレスト市の姉妹都市締結40周年記念事業として、横須賀市の小学生の選抜チームがフランスで親善試合を行った。12年前の当クラブ40周年記念行事の1つとして寄贈された、胸にライオンズのエンブレムが付いた制服でフランス国内を移動したが、ライオンズの知名度に驚いた」と感想が述べられた。参加した選手とコーチの人たちには良い思い出となったようだ。

事故なく無事に終わり、例年も開催しようの声でお開きになった。

9R-1Z 横須賀北LC

情報委員長 L細谷 修

通し一人でも  
できればと思い…

甲府舞鶴LC



●笑顔でプレゼント!

今回で2回目になり、「ちょっと素敵なアクティビティ!」との思いを引き継ぎ、笑顔で声を掛けながらプレゼントいたしました。手渡す際に「去年プレゼントされたシクラメンを大切に育てているよ!」と声を掛けられ、とてもうれしい気持ちになり、逆にパワーをいただきました。

次回もシクラメンの花を通し、多くの方とコミュニケーションをとり、一人でも多くの方を笑顔にできればと思います。

10R-1Z 甲府舞鶴LC

社会奉仕委員長 L渡邊 一郎



# CARE WORK

オセアンケアワーク株式会社





# 薬物乱用防止教育認定講師 スキルアップセミナー開催

薬物乱用防止・クエスト委員会

薬物乱用防止教育認定講師スキルアップセミナーが、2月6日(火)に日本丸訓練センター大会議室にて前日の雪が残る中、鈴木慎二薬物乱用防止・クエスト副委員長の司会進行で開催された。

橋本信行同副委員長の開会挨拶の後、来賓の(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター・企画部長の加藤康樹様に「養成講座は私どもの主催ですが、今回は330-B地区の主催となりますので、今日は私も勉強させていただきまいりました」とご挨拶をいただいた。

続いて、谷川 亘同委員長が「薬物乱用防止教室開催を1校でも増やそうとの思いで今回のセミナーを開催します。1部では船田先生のお話です。大麻を中心にまた過剰摂取のお話もあります。2部は横浜旭LCが行っているグループワーク方式の教室を体験していただきます。長丁場にはなりますが、子どもたちのためになるように勉強していただきたいと思っております」と挨拶された。

1部として湘南医療大学薬学部教授の船田雅彦先生が「最近の薬物乱用問題を考える：大麻中心に」として基調講演を行った。

## 1 国内の大麻乱用状況

・若年層への大麻乱用防止の重要性

大麻事犯検挙者数について30代以上は変わらないが20代以下が2017(平成29)年には10万人あたり14人程度が、2021(令和3)年には40人近くに増えている。

若年期の大麻使用は薬物依存症のリスクが5~7倍高い。

大麻の作用としては運動機能、認知、記憶機能の低下がある。

## 2 大麻合法化とは？有害作用と医療応用

・米国での嗜好用大麻については年齢制限21才以上、自動車運転の禁止などがある。

・改正大麻取締法

使用罪の導入

3 医薬品(市販薬)の乱用問題

背景にある悩みが原因になっている。

対処法として“否定しないで”相談できる関係性を構築する。



相談機関に「つなぐ」ことが大切

休憩後、2部の薬物乱用防止教育模擬教室は吉田正利同委員が講師となり、横浜旭LCが行っている「グループワーク方式」の体験が行われた。授業時間内に行うように時間配分をして本人たちに参加させる内容であった。

1.挨拶&DVD視聴(20分)、2.グループ討議(10分)、3.児童発表(10分)、4.まとめ(5分)と45分以内に終了する内容で、それぞれの注意事項の説明をしながら実際に集まった受講者を生徒に見立てての体験教室であった。

グループ討議は「その時、あなたは どうする？そして、なぜ？」という問いかけに対するテーマがグループごとに割り振られた。

・テーマA 「“何か分からない物”を人(知らない人や友だち)から他人に渡してと頼まれました」

・テーマB「一度だけなら、大丈夫だよ」「ちょっとだけだから、大丈夫だよ」と“何か分からない物”をすすめられました。

などがあり、どのグループがどのテーマを行うかをあらかじめ決めてスムーズに討議に入れるようにしていた。また、グループ討議中に薬物標本を持ってグループを回り1分程度の説明を行っていた。

発表の際は「逃げる」「断る」などのキーワードが出てきたらそこを捉える等のポイントの説明があった。

模擬教室の後で加藤部長からセンターからの情報提供として「長年にわたる国連支援募金のご協力ありがとうございました。昨年30年経過してウィーンに行って報告してきました。その際にビデオクリップを作成しましたので映像を観てください」とのことでビデオ視聴をした。

その後、谷川委員長より「新しい薬物標本を11リジョン分購入しました。今回グループワークでの教室について皆さんも大分理解できたのではないかと思います。しかし、実際にやるにはどうすればいいのか？今の時期、学校としては卒業生に何をさせればいいのか頭を悩ませているところです。校長のところに行けば喜んでくれます。学校に行ってみてください。もし開催が決まって講師がいなかったときは遠慮なく委員会へ連絡ください。未来を担う子どもたちのためにぜひ教室を開催してください。それが切なる思いです」と話しがあり、最後に井之上 翔同副委員長が「新たな知識とスキルを身につけて、効果的な教室を開けるように願っています」と閉会の挨拶をされた。

取材：地区ニュース

副委員長 L野田 寛

撮影：薬物乱用防止・クエスト

副委員長 L蛸谷 徹

# 小田原カルチャーフェスティバル開催!!



2月18日(日)、CN45周年記念事業として小田原三の丸ホールにて小田原カルチャーフェスティバルが開催されました。和文にすると小田原文化祭ということで来場者が1日を通して楽しみながらもこの地域の魅力にも触れられる仕組み作りをしました。

展示エリアでは、たなかきよおこ絵画展・山本春光天空書・フォトグラファー滑川正恒写真展の展示&販売をし、その隣では下田翠雨の篆刻体験・佐藤まりの組子細工でコースター作りができるワークショップと障害福祉施設ほうあんさんの焼き菓子販売エリアを設けました。

外のにぎわい広場ではさまざまなキッチンカーが並び、他団体交流と



して、小田原二世会・小田原箱根商工会議所青年部・小田原青年会議所にそれぞれ文化発信ブースを設けていただきました。

小ホールでは、この4月にスタートするNHK朝ドラのヒロインモデルとなる「三淵嘉子と小田原甘柑荘の記憶」と題した講演会が開催されました。ご本人の生い立ちや甘柑荘の歴史はもちろん、ヒロイン役を演じる

伊藤沙莉さんが現場へ訪ねてきた時の話や連ドラの裏話をNHK解説の清水聡氏が話され、満員の観客を沸かせていました。

そして、16時30分からはメインホールにて山下久美子さん、鈴木聖美さん、上田正樹さんによるスペシャルライブを開催し、80年代の名曲を披露していただきました。POPな楽曲からジャズ調・バラードと最後のアンコールまで会場が一体となり大変盛り上がりしました。

参加していただいた関係者に感謝をしながら、その晩とても深い眠りにつきました。

6R-1Z 小田原白梅LC

CN45周年記念・文化部会長

L谷 聖昭



橋梁架設工事・耐震、補修工事・土木工事  
重量品機器搬入据付工事・一般貨物運送

## 株式会社 中部

〒409-3813 山梨県中央市一町畑 912-1 TEL 055-273-1771 FAX 055-273-1774

- 自動車硝子 ●ラジエーター修理販売 ●リペア施工 ●テフロンコーティング
- フィルム施工 ●船舶資材販売 ●船舶硝子 ●産業廃棄物リサイクルシステム販売



## 有限会社 湘南安全硝子

代表取締役会長 濱田 徹

- 本社 〒239-0808 横須賀市大津町1-16-43 TEL.046-836-9481 FAX.046-834-3715
- 金沢営業所 〒236-0055 横浜市金沢区片吹69-26 TEL.045-784-8389 FAX.045-784-8391





# 8リジョン合同で 能登半島地震被災者支援基金活動

●1Z JR藤沢駅ペDESTリアンデッキ



●2Z 小田急線・相鉄線大和駅



●2Z JR茅ヶ崎駅



●3Z 小田急線相模大野駅南北自由通路



2月18日(日)12時より8R合同で「能登半島地震被災者支援募金活動」を行った。

8Rは神奈川県を縦に縦断するリジョンであり、

- JR藤沢駅南口ペDESTリアンデッキ (1Z)
  - 小田急線・相鉄線大和駅 (2Z)
  - JR茅ヶ崎駅 (2Z)
  - 小田急線相模大野駅南北自由通路 (3Z)
- と4ヶ所での募金活動であった。

2時間の活動の中でメンバーの子どもが募金箱を持っていると、募金に来てくれる方が多かった。また小学生の子どもが自分のお財布から募金をしてくれたり、高校生のグループで1人が募金すると他の仲間も募金してくれたりと涙が出そうになることも多かった。

今回の参加者は1Zが4クラブ28名、2Zが6クラブ41名、3Zが6クラブ31名の合計16クラブ100名で、募金総額は355,809円集まっ

た。募金はキャビネットを通じて被災者支援に送金した。

木藤晴彦8RCから「能登半島地震被災者支援について、これで終わりではありません。今後も各ゾーン、各クラブのアクティビティや例会など開催時に支援活動を継続してお願いします」とメンバーに伝えられた。

取材・撮影：地区ニュース

副委員長 L野田 覚

撮影：地区ニュース

委員 L渡辺 博士



# 骨髄移植に関するセミナーを開催



1月16日(火)、県立小田原高等学校にて、4年ぶり2回目となる「骨髄移植に関するセミナー」が、1年次、約300名を対象に開催されました。

現在、ドナー登録者の高齢化が進んでおり40代がピークと言われております。そのため若い世代に対するアプローチ、普及啓発が重要であり、今回も15～16歳の1年次の授業の一環として、これから対象年齢になる学生へのセミナーとなりました。

### 【ドナー登録できる方】

- 骨髄・末梢血幹細胞の提供内容を十分に理解していること。
  - 年齢が18歳以上54歳以下で健康な方。
  - 体重が男性45kg以上/女性40kg以上の方。
- ※提供できる年齢は20歳以上、55歳以下の方。  
 ※提供にあたっては家族の同意が必要です。  
 ※実際提供するにあたり、健康診断、検査、最終同意面接、骨髄提供等(入院3泊4日)があり、トータルで7日間程度の通院や入院が必要で、



●骨髄移植の体験を語る池谷さん

家族や職場の理解と協力が不可欠です。

「神奈川県骨髄移植を考える会」村上忠雄会長のご協力のもと、「骨髄提供経験者」中根悠貴様、「骨髄移植経験者」池谷有紗様を迎えセミナーが始まりました。

中根さんは中央大学の学生とのことで、学生たちも年齢が近い中根さんの話に真剣な眼差しを向けておりました。また、骨髄移植を経験した池谷さんは、大学3年(21歳)の時に「急性リンパ性白血病」を発症。闘病生活、骨髄移植そして社会復帰までをありのままに話されました。最後に「ドナーさんからもう一度生きるチャンスを与えてもらった」と、骨髄ドナーへの感謝の気持ちを語った

池谷さんに学生たちは皆引き込まれていくようでした。

骨髄移植では白血球の型(HLA)が一致することが必要で一致する確率は、兄弟姉妹で4分の1。非血縁者だと数百から数万分の1だと言われています。移植を必要とする患者さんは毎年2,000人以上ですが、実際に移植を受けることができる方は年間1,200人程度で、約6割に留まっています。

今日のセミナーを通して「骨髄移植」の正しい知識と理解が広がり、学生たちも「骨髄移植によって助かる命」があることを感じてくれたのではないのでしょうか。また過去に、池江璃花子さんが「慢性骨髄性白血病」を患いましたが、その時に同世代の若い人たちが次々にドナー登録に訪れ、ドナー登録者が前年の1.7倍に伸びたそうです。改めて若い世代に対するアプローチと普及啓発が大切だと思います。

6R-1Z 小田原白梅LC

地域奉仕委員長 L山田 広樹

甲府市地方卸売市場



# 株式会社 甲州青果市場

取締役社長  
鶴田 一郎

甲府市国母6丁目5番1号 電話 (055) 228-1791 ・ FAX (055) 228-1799





# ミニ甲子園の感動を子どもたちに！

## 第28回小田原松風LC旗争奪少年野球大会開催

小田原松風LC



当クラブの青少年健全育成事業の一環として毎年春に開催している「小田原松風LC旗争奪少年野球大会」の開会式が5年ぶりに行われ、神奈川県下48チーム・約750名の小学生の参加を得て、3月2日(土)午前8時より、小田原球場で盛大に挙行されました。

石川秀明会長の主催者挨拶に続き、守屋輝彦小田原市長、元横浜DeNAベイスターズ投手の稲川 誠氏、稲川氏の後継者である元横浜DeNAベイスターズ投手の齊藤明雄氏、遠路川崎からご足労いただいた石田真一地区ガバナーにご挨拶をいただきました。

主催者挨拶では、使用済み切手収集の送付先である「イエスのカリタス友の会」からのお礼のお手紙を紹介しました。

出場選手の入場行進も来賓、メンバーが採点し、最優秀チーム、優秀チームには表彰状と軟式ボールが渡されました。

足柄ホープの柘富進士選手による元気な選手宣誓、守屋市長と石川会長による始球式を行い、開会式を無事に終了しました。

大会結果は、優勝 寒川エース(寒川町)、準優勝 海老名ドルフィンズ(海老名市)、3位 座間パイレーツ(座間市)、同3位 座間パワーズ(座

間市)。

なお、この大会の参加チームの保護者の皆様にご協力いただいている「献血協力事業」については、献血車3台により110名の方々のご協力を得て、34,200mlの献血をさせていただき、奉仕活動に深いご理解を賜りました。

また、「海外の困難にあるの方々、子どもたちの食料支援・医療支援・教育支援のための使用済み切手収集」についても、162,546枚の使用済み切手を「イエスのカリタス友の会」へ届けさせていただきました。

6R-1Z 小田原松風LC

大会実行委員長 L新垣 鉄夫

### 特別養護老人ホーム フレンド神木

ご高齢者の個別ケアを推進！

## 社会福祉法人 三神会

神奈川県川崎市宮前区神木本町5-12-15  
E-mail w.ida.sanshinkai@wish.ocn.ne.jp



# 小学6年生を対象に 薬物乱用防止教室を開催

横浜泉LC



●真剣に視聴する小学生たち

横浜泉LC（鈴野茂男会長）では、2月15日（木）、横浜市立西が岡小学校において、同校の6年生70名を対象に薬物乱用防止教室を実施した。

今回の教室では当クラブが購入しておいた薬物サンプル標本を教材として活用し、メンバーで歯科医でもある森 和弘Lが講師を務めた。

石井喜代志第2副会長から、ライオンズクラブの奉仕活動の話と薬物乱用の危険性について説明をした後、

DVDを視聴してもらった。

●講演においては

- ・薬物乱用は脳を破壊する
- ・薬物乱用は他の人々も巻き込む犯罪である
- ・一度薬物に壊された脳は決して元には戻らない

等の説明をした。

その後グループで薬物サンプル標本を回覧しながら質疑応答に入り、講師から「友人や先輩や知らない人

から薬物乱用の誘いを受けたらどうするか」との質問に対しては「その場から立ち去る」「逃げる」「学校の先生や家族に相談する」等の回答があった。

最後に薬物乱用は『ダメ。ゼッタイ。』を全員で唱和し、啓発パンフレットを配布し薬物乱用防止教室を終了した。

3R-4Z 横浜泉LC

第2副会長 L石井 喜代志

賃貸・管理の  
専門店



いい部屋さがしのおてつだい

神奈川県知事免許(14)第6566号

## (有)太平商事

<http://www.c-taihei.co.jp>

茅ヶ崎駅前3店舗  
 本店 〒253-0044 神奈川県茅ヶ崎市新栄町12-12 TEL0467-82-2063 FAX0467-87-6070  
 元町 〒253-0043 神奈川県茅ヶ崎市元町4-39 TEL0467-88-1123 FAX0467-88-1146  
 南口 〒253-0044 神奈川県茅ヶ崎市幸町2-10 TEL0467-84-6655 FAX0467-86-3636  
 茅ヶ崎グリーンライオンズクラブ所属



## 心と技で未来を拓く 東海ビルメンテナンスグループ

信頼されるソリューション・パートナー企業を目指して





# 第12回青少年野球教室・食育セミナー開催

横浜ポートヒルLC



12月10日(日)第12回青少年野球教室・食育セミナーを開催いたしました。

今期当クラブは結成50周年の年にあたり、地元金沢区役所の後援もいただき、例年の3倍144名の参加がありました。

当日は、横浜高校元野球部監督・渡辺元智氏の指導のもと、横浜高校野球部生徒や指導者の方たちのお手伝いをいただき、参加した小中学生



●食育セミナーの様子

の思い出に残る時間をつくることができました。

2022年からは監督のお嬢さんで横浜高校の寮母を20年以上務めた渡

辺元美さんの食育セミナーも同日に開催。たくさんの保護者、野球チームのコーチが参加される中、『スポーツをするうえで子どもの食の大切さ』を講演していただきました。

今後も野球教室・食育セミナーなどを通じて地域の子どもたちに貢献できるアクティビティを続けて行けたらと思います。

2R-2Z 横浜ポートヒルLC

会長 L古田 綾恵



# 第18回ふれあいボウリング大会開催

湯河原LC



2月4日(日)、湯河原パッキーボウルにて4年ぶり18回目の「ふれあいボウリング大会」が開催された。

湯河原町地域作業所「たんぼぼ」から31名、真鶴町地域作業所「ひまわりの家」から7名の参加者が集まり、総勢38名での開催となった。

山田昭夫会長の「4年ぶりの開催になります、けがなく楽しんでください」との元気の良い挨拶から、ゲー

ムが開始された。

青年からお年寄りまで幅広い年齢層ではあるが、ガターを出すと悔しがり、ストライクを出すと皆でハイタッチをしたりと、笑顔で2ゲームを楽しんだ。

「22年前に始まり、いろいろな人たちの協力で開催ができ、参加者の顔ぶれは変わっていくが、参加者の笑顔は変わらない」と目を細めた山田

会長の言葉が印象的だった。

みぞれから雪に変わりそうな空の下、帰り際に参加者の皆さんから「来年もよろしくお願いします」との言葉に、湯河原LCのメンバーが「また来年ね」と返す言葉に、胸が熱くなった。伝統を継承し、地域に根ざした素晴らしいアクティビティだと感じた。

取材・撮影：地区ニュース

委員 L高杉 昇





# ジャガイモ苗の植え付けを実施

藤沢湘南LC



●美味しい！笑顔の一本

3月9日(土)9時より、すみれ会(藤沢市母子寡婦福祉会)と藤沢市内3団体の子ども食堂ボランティアスタッフのご家族と一緒に、総勢20名で「ジャガイモ苗の植え付け」を実施しました。

キアアカリ苗2畝とシェリー苗1畝を植え付けました。併せて昨年秋に植え付けたタマネギ畝の雑草取りも実施しました。

コロナ禍で今までのアクティビテ



ィの見直しを始めて、三密にならない屋外でのアクティビティもご評価をいただき、毎年収穫したジャガイモとタマネギは子ども食堂をはじめ

め、市内の福祉施設に提供して喜んでいただいております。

当日は、石田真一地区ガバナーと亀井真司元地区ガバナーのお二人が応援に駆けつけてくださいました。ありがとうございました。

植え付け終了後には全員で石焼き芋を食べました。石田ガバナーからは「美味しい石焼き芋ですね」とお褒めの言葉をいただきました。

8R-1Z 藤沢湘南LC L金森 行雄



## 第10回啓翁桜交流会

1R-1Z合同

# ～桜が結ぶ横浜市と米沢市～

2月3日(土)11時30分より、第10回になる啓翁桜交流会が、植樹場所である横浜市の大通り公園で行われた。交流会には330-B地区1R-1Zの有志と、332-E地区2R-1Z所属の米沢松川LCのメンバーが集合した。

始まりは、啓翁桜を横浜市に寄贈することができないかと横浜山手LCの鈴木信晴Lが発案し、2012年に横浜市大通り公園への植樹が実現。この時ゾーン・チェアパーソンだった近野照彦Lが、啓翁桜を特産品として生産する山形県米沢市の出身で観光大使を務めていたことから、米沢松川LCをはじめ米沢市の方々とも交流しようと提案し、植樹式以来、毎年交流を重ねてきた。



●近藤米沢市長



●小林 中区长

今回は、近藤洋介米沢市長、小嶋彌左衛門米沢市観光コンベンション

協会会長、啓翁桜の生産者である(株)田んぼ花の里李山の後藤 仁氏、女優で米沢市の観光大使も務める五大路子氏、福島直子横浜市会副議長、桜を見守り続けている町会員の代表、小林英二横浜市中区長も出席された。また、330-B地区からは石田真一地区ガバナーも

参列し祝辞を述べられた。

式典・記念撮影ののち、中華料理「富筵」(横浜梅桜LC・桐山利恵子L経営)に移動しての懇親会が行われた。

取材：地区ニュース

委員長 L石井 光一

撮影： //

アドバイザー L近野 照彦





# 第16回横浜市女子セブンズ大会を開催

横浜中央LC

●過去最高の22チーム  
総勢400名近くが参加



女子7人制ラグビー大会「第16回横浜市女子セブンズ大会」を1月6日(土)～8日(月・祝)三ツ沢陸上競技場にて神奈川県ラグビー協会と共催いたしました。一般の部と高校生の部合わせて全国より過去最高の22チーム総勢400名近くが参加し、天候にも恵ま

れ、若さ溢れる試合が展開されました。一般の部と高校生の部の決勝戦の試合後に優勝カップを贈呈しました。一般の部は自衛隊体育学校PTSが、高校生の部は京都成章高校が初優勝しました。

例会振替の最終日は、他クラブビジ

ターの来訪やタウンニュースの取材もあり特に盛り上がりました。優勝カップだけでなく、3日間通しての電光掲示板使用費の負担も観戦者や大会関係者から大変喜ばれました。

1R-2Z 横浜中央LC

会長 L坂尻 祐太



# 薬物乱用防止教室&「椿まつり」のあんこパレードに参加

伊豆大島LC

## 「薬物乱用防止教室」を開催

1月16日(火)に伊豆大島LCメンバー2名、大島警察署防犯係2名で、大島町立つつじ小学校6年生児童を対象に「薬物乱用防止教室」を開催しました。6年生7名は、薬物乱用防止DVDの視聴の後、講師の大石誠一Lによる講話があり、薬物使用の怖さや自分を大切にすることについて学びました。大島警察署防犯係では、児童との「薬物誘惑を断る」寸劇を実演し大いに盛り上がりながら、誘いがあった時の対応などを経験できました。そのあと、薬物サンプルを見学し、最後に児童代表からのお礼の言葉で終了となりました。今回の講習会で薬物乱用の怖さを深く周知できたと思います。

6R-1Z 伊豆大島LC

幹事 L佐藤 勝人



## 「椿まつり」のあんこパレードに参加

また、1月28日(日)コロナ禍で見送られていた「第69回伊豆大島椿まつり」が4年ぶりに開催され、当クラブもオープニングセレモニーの江戸神輿とあんこパレードに参加しました。

毎回来島いただいている「交流・ふれあい姉妹都市友好都市」の加茂LC



(17名)と山形紅花LC(7名)のメンバーと一緒に町内を巡り、パレードを盛り上げてくれました。お菓子を配布しながら地域の方、観光客の方へライオンズクラブを知ってもらえる機会となっています。

6R-1Z 伊豆大島LC

会長 L橋本 慎一郎

大手旅行会社に負けない「無理とこまわり」が得意です!

代表取締役 大貫文夫/横浜保土ヶ谷LC所属 在籍41年(1982年330-B/3R-1Z入会)

【330-B地区 旅行手配実績】担当させていただきました  
2022年第59回 OSEALフォーラム韓国濟州島大会  
2023年第105回 ポストン国際大会

少人数のグループ旅行から団体旅行まで、1979年創業の豊富な実績とアレンジ力にお任せください

神奈川県知事登録2-397  
JTBパートナー店



株式会社 **とらるわん** TEL:045-335-1213

〒240-0003 横浜市保土ヶ谷区天王町1-25-9 <http://www.travel1.co.jp>  
FAX:045-333-3733 Mail:info@travel1.co.jp 平日10:00~18:00土日祝休

地元山梨の人と企業を元気にする広告代理店



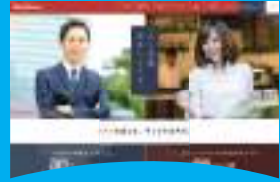
求人ウエブクリ  
国中版 都内版 プラス  
[毎週日曜日発行]



AIQジョブ  
山梨県最大級の求人総合サイト



山梨情報ポータルサイト  
PORTA



あなたのお仕事コンシェルジュ  
ジョブコンシェル

●各種広告・印刷物の企画/制作 ●採用・現有社員の適性検査業務「CUBIC」

総合広告代理店  
株式会社 武田広告社

〒400-0074 甲府市千塚2-5-17 TEL 055-252-7227 FAX 055-252-7228 <https://www.tkd-ad.co.jp>



# 株式会社資産相談センター

税理士法人資産税務相談センター

代表取締役 神戸 幸男 8R-2Z 茅ヶ崎オーシャンライオンズクラブ所属

〒251-0041 藤沢市辻堂神台 1-3-39 オザワビル 5F 電話 0466-34-1180

<http://s-soudan.co.jp>

資産相談センター

検索

相続  
対策

税務  
対策

土地  
活用

借地  
整理

武蔵小杉  
musashikosugi

新丸子  
shinmaruko

高津  
takatsu

魅力ある街の  
魅力ある賃貸マンションに  
住んでみませんか?

Advanced Home

株式会社アドバンストホーム

代表取締役 山本直正(川崎リパティLC所属)

神奈川県川崎市中原区小杉町1-509-1

マイキャッスル武蔵小杉III 401号室

TEL 044-711-3722

FAX 044-711-3753

MAIL [adh@advanced-home.jp](mailto:adh@advanced-home.jp)

WEB [www.advanced-home.jp](http://www.advanced-home.jp)

山梨県甲府市太田町四一七  
TEL 05523352075



(和なごみ)



甲府若葉LC

小尾 武

# 小松表具店

代表 小松 和 芳

(横浜戸塚中央 LC)

携帯 . 090-4626-0917

〒245-0006 神奈川県横浜市泉区西が岡 1-31-20

TEL.045-814-5043 FAX.045-814-5047

E-mail. [komatu5043@gmail.com](mailto:komatu5043@gmail.com)





地区ニュース委員会  
委員  
石川 ゆうじ

先日取材させていただいた『サーバントリーダーシップ講習会』の記事内でも少し触れましたが、GLT委員会でリモート会議の運用の進歩に非常に驚きました。

コロナ禍期間中、ライオンズクラブや仕事等でリモート会議やリモート研修が盛んに行われましたが、個人的に

直接会って話すのに比べると何か壁のようなものを感じていました。そのためリモートの限界を感じ、「コロナ禍が終われば、やはり対面に戻っていくだろう」と思っていました。

しかし、今回講習会に参加させていただいて、『全体の講義』→『ブロックバズセッション』→『全体の講義』→『ブロックバズセッション』…と交互に繰り返すことで、参加している感覚が強くなり参加者同士の距離感もぐっと近く感じました。またGLT委員の方々の進行も非常に上手で、各参加者も積極的に発言し、議論がスムーズに進み、リモートにも関わらず、参加者全体でコミュニケーションが取れてい

る感覚があり、とても感銘を受けました。もちろん、対面での会議はより濃密に、コミュニケーションが労なく取れますが、今回のような参加感が得られるのであれば、330-B地区全体の広いエリアを考えた場合、距離や時間に対し非常に効率的でメリットが大きいと感じました。

コロナ禍が収束し対面の社会が戻ってきた中でも、リモート勤務や一部リモートを残す企業がコロナ前よりも増加しているのは、システムの進歩だけでなく使う人間側も大きく進歩し、コロナ禍当初よりも肌感を持ってコミュニケーションが取れるからなのだと実感し、非常に勉強になる経験でした。

物故ライオン

謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈り申し上げます



斉藤 功人L  
横浜戸塚LC  
R5.12.24(93才)



志村 一郎L  
横浜都筑LC  
R6.1.11(87才)



市原 憲一L  
川崎朋友LC  
R6.1.16(73才)

渡辺 一正L  
山梨富士さくらLC  
R6.1.24(76才)



八伏 秀明L  
横浜みなと馬車道LC  
R6.2.1(58才)



小菅 俊雄L  
横須賀北LC  
R6.2.21(84才)



佐藤 清二L  
秦野LC  
R6.3.10(92才)

# 金子税務会計事務所

所長・税理士 金子 圭賢 (川崎北ライオンズクラブ所属)

〒106-0044 東京都港区東麻布1-3-3 TEL.03-3583-1848・FAX.03-3583-1320

E-mail : keiken@azabutc-kaneko.com



●発行日 2024年4月24日

3・4月号

Eメールアドレス  
cab.desk@lions330-b.jp

ホームページアドレス  
https://lions330-b.gr.jp/

●発行

ライオンズクラブ国際協会  
330-B地区キャビネット事務局  
地区ニュース委員会  
〒231-0038 横浜市中区山吹町1-7  
パークノヴァ伊勢佐木長者町201  
TEL.045-334-8670  
FAX.045-334-8673

●発行責任者

地区ガバナー 石田 真一  
●編集責任者・委員長  
2R 石井 光一 (横浜サンセット21LC)  
●アドバイザー  
1R 近野 照彦 (横浜梅桜LC)  
2R 中井 弘明 (横浜シーサイドLC)  
●副委員長  
6R 田村 博 (秦野LC)  
8R 野田 覚 (茅ヶ崎グリーン)

●委員

2R 石原 健 (横浜桜美林LC)  
3R 石川 ゆう (横浜泉LC)  
4R 徳永 博之 (川崎田島LC)  
5R 石塚 静 (川崎翼LC)  
6R 高杉 昇 (小田原白梅LC)  
8R 渡辺 博士 (大和中央シティLC)  
10R 中西 将志 (甲府南LC)  
10R 長坂 正 (北社LC)